

国語科学習指導案

日時 平成17年12月 5日(月) 3校時
児童 4年 男子 2名
授業者 島 知 章

1. 学習材 くらしと絵文字

2. 目標

絵文字の特徴について段落相互の関係を考え、目的に応じて内容を大きくまとめたり、細かい点に注意したりしながら文章を読む。

◎領域別到達目標

○関心・意欲・態度

絵文字の特長について考えようとしている。

○書く

絵文字の特長や文章全体の三つのまとまりの要点をまとめて書けるようになる。

○読む

本文を三つの大きなまとまりに分け、それぞれの要点を読み取ることができるようになる。

○言語事項

本文の段落相互の関係をとらえることができるようになる。

文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使うことができるようになる。

3. 教材観

私たちの暮らしの中にある絵文字が時代を超えて使われている理由を、その特長から解明している説明文である。「このように、たくさんの絵文字が使われているのはなぜでしょうか。」「第一の特長は、……。第二の特長は、……。」「このように考えてくると、……理由がはっきりしてきます」といった記述の仕方でも明らかなように、問題をはっきりさせ、その理由を一つ一つまとめながら論理的に書き進められている。

本教材は、課題・解答型の文章であり、その文章(段落)構成をふまえて内容を的確に読み取る意識を高めることに適した教材である。

4. 児童観

春から大きな声でスラスラと読めることを目標に取り組みをしてきた。多少の読み間違いはあるものの、大きな声(個人差があるのでどこまでという基準は作りづらい)、正確にハッキリと自分のペースで読めるようになってきている。

個人ごとの読みについては

Y・S ○ともすると小さな声になりがちであるが、指示すると大きな声で、ハッキリと読むことができる。また、表現読みができる。読み取りが課題。

H・S ○導入段階では読み間違いが多く、漢字の読み曖昧であるが、声は大きく学習が進むにつれてハッキリ、正確な読みになってくる。読み取りが十分でないため読みに抑揚が欠けるのが課題である。

文章表現に即した読み取りはやや良くなりつつある。それを基に自分の考えを広げることや、自分の表現にすることができない。語彙の不足と表現の練習不足が原因だろうか。

5. 指導観

指導にあたっては、「たくさんの絵文字が使われている」理由を、「絵文字の特長から考えてみましょう」という問題提起と教材の中心的な事柄「絵文字の三つの特長」を関連づけて的確に読み取らせたい。その活動そのものが、説明的文章の読むことを中心とした学習であり、文章構成に即して読むことにつながる。また、筆者の説明から必要な情報を得たり、筆者の考えを理解し、自分なりの意見や考えをもてるようにもしたい。

「要点を捉える力」やそれを「要約する力」「段落構成を捉える力」を段階的に向上させるための言語活動を実践していく。

6. 学習活動計画(全9時間)

展開・時	学 習 活 動	留 意 点
第1時 第2時	○教材全体の学習内容をつかみ、 学習計画を立てる。 ○読みの練習	○学習計画を立てる。 ・通読し、漢字の読みの確認、分からない言葉の確認をする。 ・漢字の練習をする。 ・分からない言葉を調べる。
第3時 第4時	○絵文字について分かったことを ノートに箇条書きにする。 ○絵文字の定義をノートに書く出 す。	○形式段落に番号をふりながら範読を聞く ○内容の読み取り ・形式段落①
第5時 (本時) 第6時 第7時	○絵文字の三つの特長を読み取る	○内容の読み取り。 ・課題をはっきりさせる ・解答の視点をはっきりさせる ・形式段落⑤⑦⑩
第8時 第9時	○絵文字の果たす役割を読み取る ○三つのまとまりに分ける ○まとまりごとの要点をまとめる	○内容や語句を手がかりに適切なまとまり を考えさせる。 ・このように、 ・このように考えて… ・これからの… ・学習の定着を図るために、この学習で どのようなことがわかったか、各自ま とめさせる。

7. 評 価

○関心・意欲・態度

絵文字の特長について考えようとしている。

○書く

絵文字の特長や文章全体の三つのまとまりの要点をまとめて書いている。

○読む

本文を三つの大きなまとまりに分け、それぞれの要点を読み取っている。

○言語事項

本文の段落相互の関係をとらえている。

文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使うことができている。

8. 本時の学習について（本時 5/7）

(1) 本時の学習の目標

◎絵文字の三つの特長を読み取ることができる。

(2) 本時の学習で研修に関わって「特に育てたい力」

◎音 読……すらすらと正確に音読ができる。

◎課題解決……課題に対する答えを見つけることができる。また、内容を読み取り理解することができる。

(3) 評価基準

- 関心・意欲・態度 絵文字に関心を持ち、読んだり発言したりしている。
- 読む 段落相互の関係に注意して、絵文字の特長を読み取っている。
- 言語事項 段落相互の関係を捉えている。

(4) 本時の展開

児童の主な学習活動	教師の主な活動	留意点・評価の観点
1 漢字のテスト 5分		3年生の漢字4回目
2 前時の確認	絵文字の定義を確認	前時の補足
3 前時学習部分の音読	形式段落①～④	自分のペースで 大きな声ではっきり
4 形式段落④「このように」 指示語の指し示す内容を確認する	形式段落①～③を指すことを確認させる	○段落相互の関係
5 本時の学習課題の確認		
たくさん絵文字が使われているのは、なぜでしょうか		
6 本時の学習場面の確認	形式段落④～⑫	
7 学習課題を解決する。		二度読む場所を変えて音読 解答に当たる部分に線を引きさせる。
1) 音読	指示：解答の部分を探しながら聞くこと	
2) 答えがいくつあったか確認する	第一の特長は…… 三つあることの確認をさせる知らせる。	○答えを見つけることができたか
3) 第一の特長をノートにまとめる	特長とその例についてまとめる	
4) 特長の言葉の意味を確認する	特長…他に比べて特に優れている点、特別の長所	特徴との違いに軽くふれる 時間があれば 長所⇔短所
8 まとめ 課題の答えを確認をする		
9 次時予告	残り二つの特長をまとめる	